



各位

2025 年 12 月 9 日
株式会社グリーンエナジー & カンパニー
代表取締役社長 鈴江 崇文
(証券コード：1436)
問合わせ先 執行役員 石川 大門
(050-1871-0650)

Recharge Power との戦略的業務提携の締結に関するお知らせ

株式会社グリーンエナジー & カンパニー（本社：東京都港区、代表取締役社長：鈴江 崇文、以下「当社」）は、本日 2025 年 12 月 9 日開催の取締役会において、台湾 J&V Energy Technology Co., Ltd.（雲豹能源科技股份有限公司、以下「J&V Energy」）の子会社である Recharge Power Co., Ltd.（台普威能源股份有限公司、以下「Recharge Power」）との間で、国内系統用蓄電池事業における一括受注体制の強化を目的とした戦略的業務提携（以下「本業務提携」）に関する覚書（MOU）を締結することを決議いたしました。

なお、本業務提携の締結日および業務提携開始日は 2025 年 12 月 10 日を予定しております。

本業務提携により、両社の技術力および事業運営ノウハウを相互に活用し、用地取得から設計・建設・販売・O&M・アグリゲーションに至るまでの一貫体制を共同で構築し、その拡充を図ってまいります。

記

1. 本業務提携の概要

黎明期にある国内系統用蓄電池市場において、当社はこれまでに複数の開発・運営実績を積み上げてまいりました。一方で、用地取得から建設、販売、アグリゲーションに至るまでの一貫体制を自社単独で早期に拡大するには、経営資源の制約がありました。このたび、台湾において同事業のリーディングカンパニーとして高い技術力と豊富な実績を有する Recharge Power

社と戦略的業務提携を締結し、両社の強みを融合することで、国内市場における蓄電池事業の開発から運用・管理までを包括的に推進する体制を構築してまいります。

本業務提携を通じて、開発スピードの向上、EPC や O&M の効率化、およびアグリゲーション事業の拡大を図り、国内市場におけるリーディングプレイヤーとしての地位確立を目指します。

2. 本業務提携の目的

(1) 本業務提携の主な目的

当社は現在、中期経営計画「Green300」に基づき、成長ドライバーのひとつとして系統用蓄電池事業を中長期的な収益基盤として確立すべく、戦略的な取り組みを本格化させております。また、蓄電池の開発・運用体制の拡充に加え、自社保有案件の推進や O&M（運用・保守）分野の強化などにも取り組み、事業の持続的な拡大を図っております。

これまで、2025 年 4 月には「株式会社 GREEN ACTION の株式取得による子会社化」、同年 5 月には「系統用蓄電所における開発数目標についてのお知らせ」を適時開示として公表し、当社は蓄電池関連事業を重要な成長領域として明確に位置づけてまいりました。蓄電池を活用した電源開発と、アグリゲーションによる需給調整・制御を一体的に推進することで、再生可能エネルギーの価値最大化と新たなストック収益の創出を目指しております。

2025 年 6 月には、シンプレクス・キャピタル・インベストメント株式会社が無限責任組合員を務めるシンプレクス・キャピタル・PIPEs 投資事業有限責任組合 1 号に対し、第 1 回無担保転換社債型新株予約権付社債および第 7 回新株予約権を発行し、系統用蓄電所の開発費用、システム開発、土地取得・建設費用などに充当する資金調達を実施いたしました。

現在、国内における系統用蓄電池市場は急速に拡大しており、当社においても事業の加速化が求められる状況にあります。しかし、用地取得から EPC、販売、O&M、アグリゲーションに至るまでの体制を単独で早期に整備するには、経営資源や技術面での制約があると認識しております。

このような環境のもと、台湾において同事業の最大手企業の一つとして豊富な実績と高い技術力を有する Recharge Power 社を新たな戦略的パートナーに迎え、両社の強みを融合させることで、国内系統用蓄電池事業における一括受注体制の強化と市場競争力の飛躍的向上を図ることを目的としております。

本提携を通じて、開発用地の早期確保、EPC の効率化、O&M およびアグリゲーションの高度化を推進し、当社グループの企業価値の持続的成長と、再生可能エネルギーの安定供給およびカーボンニュートラル社会の実現に貢献してまいります。

(2) 本業務提携の相手先の概要

Recharge Power は、台湾証券取引所上場企業である J&V Energy Technology Co., Ltd. (雲豹能源科技股份有限公司、証券コード：6869、以下「J&V Energy」) の系統用蓄電池事業に特化した子会社として、2019 年に台北市で設立されました。

同社は、BESS (Battery Energy Storage System：バッテリーエネルギー貯蔵システム) の開発、設計、建設、運営を主軸とし、台湾における系統用蓄電池事業の先駆者として多くのマイルストーンを築いてまいりました。主な実績としては、以下のとおりです。

- ・ 台湾初の自動周波数制御 (AFC) 実証プロジェクト
- ・ 台湾電力 (Taipower) 所有変電所併設の初稼働プロジェクト
- ・ 台湾初の太陽光発電 (PV) + BESS 併設プロジェクト
- ・ 台湾最大規模の民間系統用蓄電池システム (200MW/335MWh)

現在までの蓄電池システムの建設実績は、累計 307MW/647MWh に達しており、同社は台湾最大級の蓄電池システムインテグレーター (BESSI) の一社として高く評価されています。

また、Recharge Power は BESS の EPC (設計・調達・建設) および O&M (運用・保守) までを一貫して提供できる技術体制を有し、顧客に対して高品質なターンキー・ソリューションを提供しております。これにより、台湾国内の再生可能エネルギー事業者および大手電力会社から厚い信頼を得ています。

同社は 2024 年に、日本国内での事業拡大を目的として REENS 株式会社を子会社化し、台湾で培った高度な技術と実績を基盤に、BESS プロジェクトの開発・建設・運用を開始しました。さらに、台湾と日本の両国に O&M センターを設置し、24 時間体制での監視・保守対応を行うことで、迅速な対応で信頼の高いメンテナンスサービスを提供しています。

本業務提携により、Recharge Power が有する豊富な開発・運用実績および技術支援体制を活用し、当社は国内系統用蓄電池事業における開発スピードおよび品質の一層の向上を図ってまいります。

(3) 本業務提携の理由

当社は、国内における系統用蓄電池事業の開発・運営において一定の実績を積み上げておりますが、事業規模をさらに拡大し、開発から設計・施工・運営までを一貫して推進する体制を自社単独で早期に構築するには限界があると認識しておりました。

一方、Recharge Power 社も、日本市場において事業規模の拡大を図るうえで、販売や顧客対応を強化し、質の高いサービスを提供するためには、国内実績を有するパートナー企業との連携が不可欠であると判断していました。

こうした双方の課題認識のもと、当社の戦略的投資提携先であるシンプレクス・キャピタル・インベストメント株式会社による両社の協力関係構築の後押しもあり、相互補完的な関係を構築し得ることを双方が確認できたため、本業務提携の締結に至りました。

本提携により、両社の強みを生かしながら、国内系統用蓄電池市場においてより高品質かつ効率的な事業展開を実現してまいります。

3. 本業務提携の内容

当社および Recharge Power 社と、その子会社である REENS 株式会社は、ともに系統用蓄電池事業において、開発・設計・施工・販売・運営までを一貫して対応できる体制を有しております。

本提携では、各社の強みを最大限に活かし、業務プロセス全体において役割分担を明確化することで、事業の効率化・加速化およびコストの最適化を図ってまいります。

両社は、以下の協業領域において相互に連携し、系統用蓄電池事業の一貫体制を共同で推進いたします。

(1) 開発フェーズ

Recharge Power および REENS が開発用地の先行取得を担当する

(2) 建設フェーズ

当社が系統用蓄電所の EPC（設計・調達・建設）を請負、効率的な建設体制を整備する

(3) 統合システムの提供

Recharge Power は、システムインテグレーターとして EMS を開発し、EMS、PCS、BESS、BOP を含む統合システム一式を提供することで、プロジェクト全体の信頼性と安定した運用を確保する

(4) 販売・アフターサービス

当社は、Recharge Power が提供する系統用蓄電所を販売するとともに、販売先へのアフターサービスも提供する

(5) 共同研究・標準化

共同保有案件を活用し、蓄電所の最適仕様の実証および標準化を推進する

(6) 運用・保守（O&M）

共同で点検項目の可視化や運用管理基準を策定し、品質向上を図る

(7) アグリゲーション開発

共同開発により、最適な需給調整システムの実装・高度化を実証する

(8) 品質・安全管理

顧客の資産価値保全と安全確保に向けた品質マネジメントを協働で実施する

これらの取り組みにより、両社の技術・経験・知見を融合し、開発から運用までをワンストップで提供できる体制を強化してまいります。

両社は、本業務提携の当面の目標として以下の共同開発および共同保有を行います

- (1) 高压案件（2 MW/ 8 MWh）の共同開発を 2027 年 4 月期（2026 年 5 月～2027 年 4 月）までに全国各地 20 カ所で展開します
- (1) 高压案件（2 MW/ 8 MWh）の共同保有を進めます
- (2) 特別高压案件 2 カ所の共同開発を進めます

両社は、円滑な協業推進を図るため、実務責任者を選任し、各計画において PDCA サイクルを適切に運用することで、現場レベルでの迅速な意思決定を可能といたします。

また、KPI（重要業績評価指標）の進捗状況を定期的に把握し、経営層が経営の最重要課題として本業務提携の進捗をモニタリングすることで、両社の早期目標達成に向けて着実に推進してまいります。

4. 本業務提携の相手先の概要

<協業親会社の概要>

(1) 社名	雲豹能源科技股份有限公司（J&V Energy Technology Co., Ltd. ）			
(2) 所在地	台湾台北市内湖区基湖路 1 號 4 樓之 1			
(3) 設立	2016 年 2 月 [2023 年 3 月台湾証券取引所上場(6869)]			
(4) 時価総額	新台幣ドル 131.49 億ドル（約 654.50 億円） ※2025 年 11 月 28 日終値基準			
(5) 代表者	總經理 趙 書閔			
(6) 事業内容	再生可能エネルギー発電所の開発、投資、およびそれらの維持管理			
(7) 当社との関係	資本関係、人的関係、取引関係、関連当事者関係はありません。			
(8) 直近 3 年間の財政状態および経営成績	単位：百万台湾ドル	2024/12	2023/12	2022/12
	総資産	NT\$13,869	NT\$8,774	NT\$8,207
	純資産	NT\$6,751	NT\$4,159	NT\$2,859
	売上高	NT\$3,793	NT\$6,784	NT\$6,301
	営業利益	NT\$△141	NT\$832	NT\$876
	経常利益	NT\$1,083	NT\$1,215	NT\$657
	親会社株主に帰属する当期純利益	NT\$1,133	NT\$1,014	NT\$454

<協業会社の概要>

(1) 社名	台普威能源股份有限公司（Recharge Power Co., Ltd.）
(2) 所在地	台湾台北市内湖区基湖路 1 號 6 樓
(3) 設立	2019 年 11 月

(4) 資本関係	雲豹能源科技股份有限公司の子会社
(5) 代表者	総経理 馮 浩翔
(6) 事業内容	台湾における系統用蓄電池の開発・設計・販売・保守・運営 日本およびアジア太平洋地域におけるアグリゲーション事業
(7) 当社との関係	資本関係、人的関係、取引関係、関連当事者関係はありません。

<協業子会社の概要>

(1) 社名	REENS 株式会社
(2) 所在地	東京都中央区日本橋箱崎町 1 - 2 The Shore 日本橋茅場町 6 階
(3) 設立	2021 年 5 月
(4) 資本関係	台普威能源股份有限公司の子会社
(5) 代表者	代表取締役 李 忠
(6) 事業内容	日本国内における系統用蓄電池の開発・設計・販売・保守・運営
(7) 当社との関係	資本関係、人的関係、取引関係、関連当事者関係はありません。

<当社の概要>

社名	株式会社グリーンエナジー & カンパニー
所在地	徳島県板野郡松茂町中喜来字群恵 39-1
設立	2009 年 4 月 1 日
資本金	970 百万円（資本準備金含む 2025 年 4 月 30 日現在）
代表者	代表取締役社長 鈴江 崇文
事業内容	GX 関連企業で構成されるグループ会社の経営管理及びそれに付帯する業務

5. 今後の見通し

本提携による今期業績への影響は、現時点では精査中であり確定しておりません。

今後、提携の具体的な進展に応じて業績に与える影響を把握し、必要に応じて適宜開示いたします。

また、本提携を通じて当社は蓄電池事業領域における事業拡大を図る方針です。

6. 問い合わせ先

株式会社グリーンエナジー & カンパニー

IR 担当：板東・石川

ir@green-energy.co.jp

台普威能源股份有限公司 (Recharge Power Co., Ltd.)

任 品瑄 Abby Jen

service@rechargepower.com.tw

(886)2-2797-1686

以上